



伊丹市立幼児教育センター通信

ときめき ひらめき

Vol 26 (令和7年10月)
発行: 伊丹市立幼児教育センター
住所: 伊丹市千僧1-1
電話: 072-780-2488
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

★伊丹市架け橋期の教育連絡協議会 地域部会 第1回を終えて

今年度始まった伊丹市架け橋期の教育連絡協議会 地域部会が、8月末までに全7ブロック、実施されました。私達、幼児教育センター架け橋期のコーディネーターも参加しましたが、各ブロックにおいて多くの私立園所の参加があり、施設長も参加される等、市内就学前施設全体として「架け橋期の学びをしっかりと小学校につなぎたい」という意識の高まりを感じました。また、参加されて「小学校の取組を知るいい機会だった」「つながりができて有難い」というお声も聞きました。

そして各ブロック地域部会の成果と課題を、先日、各地域部会の拠点園担当、架け橋期のコーディネーター等で共有しました。

○第1回 地域部会の成果○

- ・各ブロックにおいて互いに顔が繋がった(公私の横のつながり、幼小の縦のつながり共に)。
→ 地域部会をきっかけに、小学校に行く(運動会練習見学や授業参加、散歩等)、拠点園に私立園が遊びに来る等、交流が増えた。



★架け橋期のコーディネーターより★地域部会の後、小学校の先生と保育者、また他施設の保育者同士、立ち話で盛り上がっている様子が多くのブロックでみられました。地域部会の本来の目的は『保育と授業の中身がつながる』ことですが、副次的に無理のない横・縦の交流が増えたことはいいことですね。

- ・各学校における授業の工夫の実態を知ることができ、就学前からの繋がりが見えた。
- ・地域の園の保育内容を互いに知ることができた。



★架け橋期のコーディネーターより★小学校の取組だけでなく、近くにあっても、それぞれの施設の保育内容を知る機会はほとんどなかったのではないのでしょうか。それぞれの経験が違うからこそ、一緒に学ぶ小学校でその経験が活かされていくよう、地域部会でしっかりと保育を語ることが大切ですね。

○地域部会の課題と今後(第2回)に向けて○

- ・伊丹市 架け橋期のカリキュラム(5歳児版)の浸透・活用がまだ不十分



★架け橋期のコーディネーターより★各施設でそれぞれ異なる経験をしてきている子ども達と同じ小学校、同じクラスになってのスタート。保育内容の差が大きいからこそ、5歳児に必要な経験ができていないか、日頃の保育を振り返るために「架け橋期のカリキュラム」を活用し、滑らかな接続につなげましょう。アドバイザー施設訪問で活用方法をお伝えします。また、1回目の地域部会に参加できなかった…地域部会ってどんなの?参加したほうがいいの??…等、質問、相談にもお応えします。そして、小学校・学校教育課中心に現在作成中のカリキュラム1年生版も、お楽しみに!

「1年生はゼロからのスタートじゃない!」

架け橋期の学びを、カリキュラムでつないでいきましょう。

若手対象 自主勉強会 次回テーマ「保護者対応」

講師：幼児教育推進課 樹山課長

11/14(金)18:15～19:15 途中参加・退出自由
問い合わせ・申し込みは、幼児教育センターまで！

※こんな内容でやってほしい！のリクエストも随時募集中😊

自主勉強会 1年目～5年目が対象です！ はじめます！

伊丹市幼児教育センター

施設の環境整備や保育のあれこれの悩み、置かれている中で学び合う機会とすることを願い、今年も「自主勉強会」を開催します。
私たち幼児教育センターも若手の皆さんと共に学びながら、皆さんが「保育者として楽しい」「子どもと接するの楽しい」と感じながら保育の仕事に励んでいてほしい。サポートできればと思います。保護者の役割の増大等ではありますが、ぜひ、一度センターに足を運んでみてください。

その2『保護者対応・保護者支援』

保護者との関わりに自信がない…
保護者と信頼関係を築くにはどうしたらいい？
子どもへの関わり方をサポートしたいがどう伝えたらいい？
保護者との関わり方について、わからないこと、気になること、知りたいことなど、若手保育者のよくある悩みを話し合いながら、子どもの育ちを変える保護者対応・保護者支援について学びましょう。

ご 参 考
1 日時 毎週月曜 18:15～19:15 (金)
2 対象 幼児教育センター 1年目～5年目までの保育者
3 内容 保護者対応・保護者支援について
4 講師 樹山幼児教育推進課 樹山センター長・施設アドバイザー (予定)
5 申込方法 幼児教育センターにご連絡ください。

伊丹市教育委員会事務局 幼・小・中・高部幼児教育推進室 幼児教育推進課
伊丹市立幼児教育センター
Tel 072-780-2488 Fax 072-780-2489
E-mail youkyosenta@city.itami.lg.jp

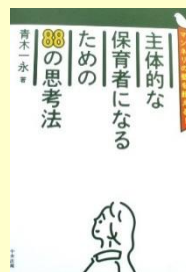
★おススメ保育専門書

☆紹介の専門書は貸本として幼児教育センターに置いておりますので是非ご利用ください。

「そざい探究 LABO」

著作：桐嶋 歩 発行：メイト

何をつくるか決めない
造形遊びの新提案！
造形遊びをもっと気軽に
日常的に子ども達と楽しんで
みませんか？素材にふれて
・感じてとことん楽しむ
「そざい探究あそび」の実践方法を紹介します。



「主体的な保育者になるための88の思考法」

著作：青木 一永 発行：中央法規

保育者としてさらに成長したい！けれど、うまくいかない…。そんな方に園長の経験もある著者が「自己効力感を上げる」「保育と子育ての違い」など、ワンランク上の保育者として身に着けたい 88 の思考法を紹介。1つの思考法を見開き頁で解説しています。

★アドバイザー通信「特別訪問にて」

幼児教育センターでは、各施設の幼児教育に関するお悩み事や気になることなど、解決に向けてのお手伝いをさせていただく「特別訪問事業」を行っております。各施設様の運営や保育に関して一緒に考えさせていただける機会があることに日頃より感謝しております。

ある保育園への特別訪問では、園長先生をはじめ、主任先生、担任保育士、加配保育士等、一人の子どもに関わる職員皆で保育についての悩み事を共有し、より良い関わり方について話合われていました。「気になる子」や「配慮の必要な子」とその保護者への支援は課題も様々でさわめて重要なことです。日々、頑張っておられる先生方の気持ちに寄り添うことを念頭に置きながら、具体的な支援方法を一緒に考えさせていただきました。

この園では、職員が子ども一人一人に丁寧に向き合えるよう一人で悩まず、子どもの「今」を幸せにするためにチームで対応されていることに深く感銘を受けました。

先生方にとっても、子どもにとっても「明日はもっといい日になる」ことを願って、これからも一緒に学ばせていただき、できる限りのお手伝いをさせていただきたいと思っています。

(幼児教育アドバイザー 谷澤)